

地域を変える POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカエルギヤントさん



◀一緒に作ったインドネシア料理

国内外の受け入れ体験と文化交流

奈良県に住んでいた時に外国人のボランティア体験の受け入れをしていました。最近までコロナの入国制限がありましたが、2年ぶりとなる今年（2022年）の11月より、やっと入国可能になりましたのでボランティアの方の受け入れを行いました。

外国人の受け入れは、地域の方々の安心の為、受け入れ前にワクチン接種確認、体温チェックとPCR検査を行っております。また、国内の受け入れは、去年から肝付町の観光協会を通じて、学生の受け入れや漁業農業体験の受け入れをしています。

今年は去年と同じく楠隼学校より中学生3名と高校生3名が農業体験で来ました。一泊二日の体験の中で、自然農法栽培の畑作業から鶏小屋のカラス対策作業までを一緒にやりました。その後は、岸良・辺塚海岸を巡り湯之谷温泉でお風呂に入り、夕飯にインドネシア料理を作り、みんなと一緒にボードゲームを遊びました。短い時間でしたが、家の中が賑やかになりとても楽しい時間を過ごせました。

外国人の方々の受け入れについては、2023年1月までに2名を受け入れました。11月にオランダ人が約1か月間滞在し、自然農法の畑作業を一緒にしました。12月にはカナダ人を同じ期間受け入れ、空き家の点検から大掃除まで色々な支援を頂きました。作業支援だけでなく、日本の言葉・文化、バドミントン交流、町内と大隅地域の観光地の案内もしました。カナダの方は、自然がたくさんあり、ロケット打ち上げも見られる所がいいね！と言っていました。

これからも、様々な活動を通して肝付町の良い所を日本国内及び海外の方々に紹介していきたいと思います。

アメリカのバレンタインデーの祝い方が日本と違うことを知っていますか？同じ2月14日でも、いろいろな違いがあります。アメリカにはホワイトデーがないので、バレンタインデーではお互いにプレゼントを贈りあいます。さらにアメリカには「義理チョコ」というのが



▲キャンディグラム

なく、配偶者や彼氏・彼女に渡す人がほとんどです。しかも、そのプレゼントはチョコレートに限らず、キャンディーや花、ジュエリーを送ったり、豪華なディナーに行ったりします。また、バレンタインデーは大人だけのものではありません

CIR (イベント編) キャサリンの お国自慢



今回はアメリカの「バレンタインデー」について紹介したいと思います。

ん。小学校では、クラスで小さな箱をデコレーションして郵便受けのようなものを作り、クラスメイト全員でバレンタインカードやキャンディーを入れるのが人気です。また高校では、一輪の花に短いメモとキャンディーが結び付けられてい

る「キャンディグラム」というのを買って、それぞれ匿名で届けるのが人気です。このように、アメリカでは、プレゼントにメッセージカードを添え、相手へ「愛や感謝」を伝えます。

皆さんも2月14日は、大切な人へプレゼントと一緒に「愛や感謝」を伝えてみてはいかがでしょうか。



▲バレンタインチョコ

イベントのお知らせ

2月11日(土)

国際交流イベント

バレンタインカードづくり

申込締切 2月9日(木)



詳細については申込フォームをご覧ください。企画調整課にお問い合わせください。

お問い合わせ先 肝付町役場企画調整課
☎ 0994(65)8422